
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2007年7月2日号

©2007年5月トウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年5月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 トウモロコシの春季播種はおおよそ終了、播種面積は増加予測

2006年の全国のトウモロコシ総生産量は、前年比4.4%増の1.45億トンとなった。昨年、価格が上昇したことから、トウモロコシの栽培収益が大豆を上回り、今年の国内トウモロコシ生産情勢は、依然良好であると予測されている。全国の定点調査によると、2007年の国内のトウモロコシ播種面積は、3%前後の増加が見込まれている。現在、東北部のトウモロコシの春季播種はおおよそ終了しており、全体として播種は順調な進捗を見せている。

2 1～4月の輸出は増加、前年の輸出総量を上回る

海関統計によると、2007年4月のトウモロコシ輸出量は、前年同月比1.3倍の57.9万トンとなった。1～4月の輸出量累計は、前年同期比56.0%増の348万トンとなった。いずれも、昨年1年間の輸出量である41万トンを上回っている。主要輸出相手国は韓国で、その他重要な輸出相手国として日本、マレーシア、インドネシア及びイランなどがある。主要輸出省は、内蒙古自治区を含む東北4省・自治区である。4月はトウモロコシの輸入がなかったが、これは、運賃保険料込み価格（CIF価格）が明らかに国内価格よりも高かったためである。1～4月の輸入量累計は、前年同期比1.3倍の6,323トンとなった。

3 国内トウモロコシ総供給量は増加、工業消費量の増加が顕著

2006/07年度（2006年10月～2007年9月）における中国のトウモロコシ総供給量は、前年度比6.2%増と予測されている。うち同年度の新たな供給増加量は、同4.4%増とみられ

ている。また、同年度におけるトウモロコシの国内総消費量は、同4.2%増と予測されている。うち飼料用消費は同1.6%増、食用消費は同6.9%減、工業用消費は同18.8%とみられている。また、輸出量を加えた2006/07年度のトウモロコシ総需要量は、前年度比4.6%増と予測されている。トウモロコシの新たな供給増加量が、当年度の需要量をやや上回るため、在庫量は前年度よりも増加する見込みである。ただし、工業用消費量の増加の勢いが強く、国内のトウモロコシ需給が逼迫する可能性もある。

4 世界のトウモロコシ消費の増加が生産の増加を上回り、在庫は大幅減

米国農務省（USDA）の予測によると、2006/07年度の世界のトウモロコシ総生産量は前年度比0.3%増の6.98億トンと見込まれている。世界のトウモロコシ消費量は引き続き増加し、同3.3%増の7.27億トンと予測されている。期末在庫は同23.9%減の9,320万トンまで減少し、在庫／消費比は安全水準を下回る12.8%となるものとみられている。

また、世界のトウモロコシ貿易量は、若干の拡大が見込まれ、輸出量は前年度比7.1%増の8,700万と見積もられている。うち米国が世界の輸出量の64.2%を占めている。輸入量は同4.2%増の8,255万トンで、主要輸出相手国は日本、韓国及びメキシコなどである。

5 国内市場の購買が旺盛、価格は上昇

現在、春の播種は大方終了し、畜産業の進展もあってトウモロコシの市場取引が活発となり、全国でトウモロコシ価格が上昇している。5月の国内生産地における平均卸売価格は1トン当たり1,432円で、前月比2.4%高、前年同月比17.3%高となった。うち東北部では前月比4.4%高・前年同月比13.1%高、華北の黄河・淮河流域では前月比1.3%高・前年度比19.2%高となった。消費地における平均卸売価格は1トン当たり1,690円で、前月比0.5%高、前年同月比17.9%高となった。農家の販売価格も全体に上昇し、吉林省、黒龍江省、山東省、河北省及び河南省の主要5生産省における中等級トウモロコシの平均農家販売価格は、50kg当たり67.0円で、前月比4.9%高、前年同月比22.8%高となった。現在、生産地の農家で販売待ちとなっているトウモロコシは少なく、畜産業における飼料需要が引き続き強いことから、トウモロコシ価格はさらに上昇する可能性があるとして予測されているが、その上昇幅はあまり大きくはないと見込まれている。

6 国際価格が上昇、内外価格差が再び拡大

2006年下半期からトウモロコシの国際価格が持続的に上昇し始め、今年2月には、最近10年間における最高水準を記録した後、高止まりで推移している。5月における米国メキシコ湾の2号黄色トウモロコシの平均港湾価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり1,217円で、前月比2.9%高、前年同月比36.6%高、年初比5.1%安、直近5年平均比38.6%高となった。また、シカゴの先物価格は同1,140円で、前月比1.3%高、前年同月比44.9%高、年初比5.2%安、直近5年平均比48.1%高となった。5月の米国産トウモロコ

シの通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、同時期の国産トウモロコシの国内港価格よりも１トン当たり585元高く、前月に比べ、内外価格差は１トン当たり108元まで拡大した。主な原因として、最近における国際海上輸送費の大幅な上昇がある。